



第25回鹿児島市都市計画審議会は27日、同市役所で開かれた。中央町22番街区再開発事業第一種市街地再開発事業などを諮り、付帯意見を付けて原案通り承認した。都市計画の決定後に基本設計等を委託する見通しだ。

計画では、22番街区は施行区域面積約0.2ha、建築敷地面積約1400㎡に4階建延べ約4800㎡(高さ約20m)、用途構成は商業・業務施設、(高さ約65m)、用途構成

中央町22・23番街区再開発 原案通り承認

鹿児島市都市計画審議会

22番街区は施行区域面積約0.3ha、建築敷地面積約1400㎡に17階建延べ約1万1500㎡(高さ約65m)、用途構成は住宅(約80戸)、商業・業務施設、駐車場(80台)。幹線・区画道路は整備済み。

総事業費は22番街区が約9億円、23番街区で約27億円を見込む。市街地再開発事業推進計画作成はアール・アイ・エーが担当。

なお、市当局では次回都市計画審議会を3月下旬に開きたい意向を示した。

九州地方整備局は28日付けで、「鹿児島220号まさかり橋上部工Aの一般競争

鋼橋上部工Aの一般競争

鹿児島220号まさかり橋上部工

九地整

年末年始休刊のお知らせ

かねてから「鹿児島建設新聞」を愛読をいただき感謝申し上げます。

さて、本紙はきょう28日付けで年内の発行を終らせていただきます。新年は1日付けに新年特集号を発行、6日号から平常通り発行いたします。

来年は、弊社も5月で創刊50周年を迎えることになりました。来年も一層のご愛顧をお願い申し上げます。

平成17年12月28日

株式会社 鹿児島建設新聞

県は、22日に事業者選定審査委員会を開催。各事業者の提案書を経済性、環境対応、技術面、事業運営能力の各項目ごとに審査し決定した。最優秀提案者の提案は、省エネ手法のバランスの良さなどが評価された。なお次点者となった代表者・菱熱(構成員=大気社)の提案は、夜間電力の機器を採用するなど環境面

への配慮がなされていたが、特殊性・景観に課題を残すとの評価とした。提案内容(補助金有り)の場合、エネルギー削減率は21・8%、CO₂削減率は23%、光熱水費削減額は年間1770万円、契約期間は13年。提案項目は、①高効率熱源器への更新と冷却塔の更新(2基)②モニタリングシステムの構築③空

調機器のインバーター化④高効率変圧器への更新⑤照明安定器のインバーター化となっている。県は、省エネルギーによる地球温暖化対策の推進を目的としている。

11月末で契約率は70・9%

県がまとめた11月末現在の公共事業等施行状況(現計予算等)によると、契約額1664億1000万円、契約率70・9%となった。

内訳は、普通会計の補助事業が1252億2300万円、契約率71・7%、単独事業が377億9000万円、同69・5%。普通会計以外の単独事業は33億8800万円、同59%となっている。

構成員に日本ガス等

最優秀提案者

ユーエフジエイセン トラルリスに決定

県、黎明館・ESCO事業

県歴史資料センター黎明館にESCO事業を導入する県は27日、提案があった4事業者の中から最優秀提案者を代表者・ユーエフジエイセントラルリス(構成員=日本ガス、設計=西米設備事務所・久米設計、施工=山武・朝日工業社)に決定したと発表した。今後、1月から詳細設計に着手し、17年度内にも工事概要等をまとめる。18年度に補助申請(NEDO)などを経て、10月頃から設備更新・改修に着手、19年3月末頃の完成、同年4月のサービス開始を目指す。

県は、22日に事業者選定審査委員会を開催。各事業者の提案書を経済性、環境対応、技術面、事業運営能力の各項目ごとに審査し決定した。最優秀提案者の提案は、省エネ手法のバランスの良さなどが評価された。なお次点者となった代表者・菱熱(構成員=大気社)の提案は、夜間電力の機器を採用するなど環境面

他提案事業者は次の通り。

代表者・日立製作所同・九電工(設計=テクノエアー・セイビングスノエ工)

昭和58年の竣工から築20年以上が経過している鹿児島市の県歴史資料センター黎明館(SRC造地上3階地下1階建延べ1万5985㎡)を選定した。なお、契約方式はシェアード・セイビングス方式(民間資金活用型)。

ガスマイホーム発電、始めましょう。

エコウィル
ECOWILL
ガス発電・給湯暖房システム

排熱利用給湯暖房ユニット

ガスエンジンの排熱を利用して給湯や暖房ができます。

ガスエンジン発電ユニット

自動車と同じようにエンジンで発電。熱と電気を作り出します。

ひと・ゆめ・暮らし 鹿児島市中央町8-1
日本ガス (099) 250-512

平成17年の世相を表す漢字は「愛」。人々に夢と感動を与えたスポーツ選手の活躍や愛・地球博の開催、数々の自然災害による被災者救援など、愛を育む大切さを再認識させられる1年となった。地域建設業は、今年も被災地の復旧活動はもちろんだ、安全で快適なまちづくりに貢献すべく必死で取り組んできた。自然の猛威とはいえず、損壊した道路や河川等を見ると、年々減少する公共事業に首をかしげたくなる。世間を震撼させた耐震強度偽装問題や相次ぐ談合事件等で、業界には冷たい風が吹き荒れている。このままでは建設業の存在を根幹から否定されることにもなりかねない。なぜ建設業が必要なのか。その重要性をこれからは私たち自身がPRしていかなければならない。また技術者は強い信念と誇りを持って、その使命を全うしてほしい。平成18年が実りある素晴らしい年となることを願う。

安くて同業者の方にご迷惑をお掛けするかもしれません...

超衝撃価格

三木屋の初商

1/2(月) ▶ 5(木)

午前8:30~午後6時まで

〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目4-1 県営球場前・武道館前

☎ (099) 256-5631 FAX (099) 254-2923

かごしま

建設新聞

株式会社 鹿児島建設新聞

発行人 大迫純

鹿児島市錦江町3番36

電話 099-227-5100

FAX 099-225-1919

振替口座 02020-5-25

http://www.kc-news.co.jp

本 社 (099) 260-6100

鹿児島 (099) 260-5200

国 分 (0985) 43-2972

川 内 (0986) 27-1996

鹿 屋 (0994) 40-9360

宮 崎 (0985) 30-9680

都 城 (0986) 38-6120

延 岡 (0982) 63-5458

熊 本 (096) 273-3666

八 代 (0965) 35-4878

南九州地区 総代理店 株南栄技研

ビケ足場 レンタルシステム